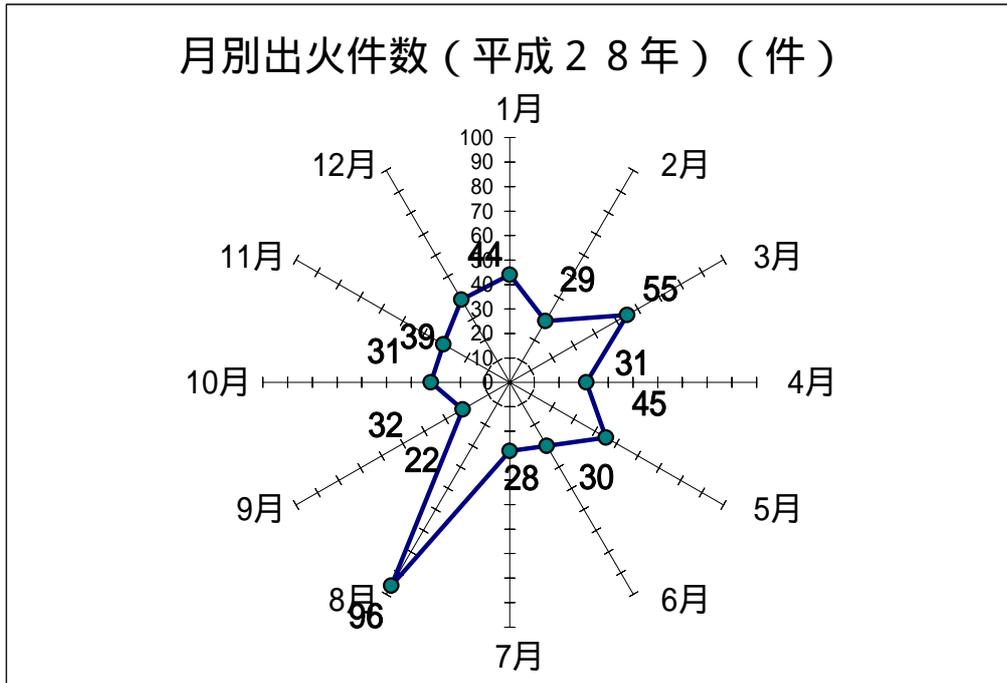


火災発生 の 概況



1 出火件数について

平成28年中の長崎県内における火災は、火災総数482件、損害額618,600千円、火災による死者数17名、負傷者数72名、罹災世帯数220世帯、罹災人員536名でした。

これを、前年と比較してみると、出火件数では88件増加し、死者数では前年より6名減少、損害額では48,149千円の増加となっています。

火災種別の内訳をみると、建物火災が232件で全火災の48.1%、次いで車両火災が54件(11.2%)、林野火災が20件(4.1%)、船舶火災8件(1.7%)、その他の火災が168件(34.9%)でした。

2 火災による死者の状況

火災による死者は17名で、前年より6名減少、負傷者は72名で前年より1名の減少となっています。

3 出火原因

出火原因では、第1位は「たき火」(66件)、第2位は「コンロ」(39件)、第3位は「放火(放火の疑い含む)」(34件)、第4位は「たばこ」(31件)、第5位は「電灯電話等の配線」(20件)となっており、これらで全体の39.4%を占めています。

(県消防保安室)